



部会だより

コロイドおよび界面化学部会 令和7年度 部会各賞受賞者の紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では、当該分野で顕著な業績を挙げられた研究者・技術者を表彰するために Lectureship Award (LA), 科学奨励賞および技術奨励賞の各賞を設けております。令和7年度の受賞者を以下に紹介します。

Lectureship Award

LA は、部会のさらなる発展と活性化に寄与していただくため、当該分野で著しい活躍をされている著名な研究者や将来の活躍が期待される研究者に授与されます。本年度の受賞者は、次の2名の先生です。

・Gregory Goodman Warr 先生 (The University of Sydney, Australia)

専門研究分野「バルク相や界面における両親媒性化合物の構造・物性に関する研究」

Warr 教授は、水溶液、非水溶液、イオン液体などのバルク相中や各種界面における両親媒性化合物の構造・物性に関する多様な研究を精



Gregory Goodman Warr 先生

力的に行ってこられました。最近では特にイオン液体に着目した研究を展開されており、イオン液体中での両親媒性分子の自己組織化現象の解明と自己組織化構造体の特殊な化学反応場としての応用などに関して先駆的な研究を推進されています。

・Regine von Klitzing 先生 (Technical University Darmstadt, Germany)

専門研究分野「界面におけるソフトマター系の研究：特に、複雑液体膜への展開」

von Klitzing 教授は、比較的単純な系を扱ってきた従来のコロイド界面化学の研究対象を、生命科学や工学系のより複雑な系に展開し、新規性の高い多くの研究を行ってこられました。固体表面間の閉じ込め空間での振動力に関する研究や粒子の秩序形成と界面力や泡の安定性との関係、熱感受性マイクロゲル粒子やタンパク質のような複雑な物質の泡膜安定化剤としての展開など、特筆すべき優れた成果を挙げておられます。



Regine von Klitzing 先生

科学奨励賞・技術奨励賞

科学奨励賞と技術奨励賞は、当該分野において顕著な活躍をされている若手研究者を表彰し、さらなる研究発展を奨励することを目的としております。

科学奨励賞は、アカデミアに所属する若手研究者を対象としており、本年度は次の1名の先生に授与されます。

・吉田一也先生 (山形大学)

研究主題「バイオ関連ソフトマターの界面挙動の解明」

吉田先生は、生



吉田一也 先生

体界面に関わる研究で優れた成果を挙げてこられました。脂質二分子膜に対する毒性分子の影響の解明や昆虫の翅の光学特性の解明など独創的な研究を推進されています。

また、技術奨励賞は、企業の若手研究者・技術者を対象としており、本年度は次の1名の方に授与されます。

・福原隆志氏 (株式会社資生堂)

研究主題「金属酸化物粒子分散系の動的な分散—凝集状態制御と化粧品への応用」

福原氏は、酸化チタンや酸化亜鉛微粒子の分散・塗布膜技術の開発と応用に関する研究で優れた成果を挙げてこられました。UV 遮蔽効果



福原隆志 氏

と透明性を両立した塗布膜の形成とその機構や制御法の解明、日焼け止め製剤への応用など、学術研究と応用展開をつなぐ優れた研究を進められております。

おわりに

受賞者の先生方には、9月に千葉大学で開催される第76回コロイドおよび界面化学討論会において受賞講演をしていただく予定です。ぜひご聴講下さい。また、令和8年度は国際会議 Okinawa Colloids 2026 開催のため、奨励賞のみ募集します。

〔令和6年度 副部会長・賞選考委員長
飯村兼一 (宇都宮大学工学部)〕

© 2025 The Chemical Society of Japan